



教育相談；一人で悩まず相談しよう

中学校生活の様々な体験の中で悩むことも多いと思います。そんな悩みは、自分一人で抱えるよりも先生に、友達に話をすることで、うれしさは倍になり、苦しさは半減します。中学生時代は、大いに悩んで成長してほしいと願っています。今回の教育相談の期間で友達の事、進路の事等相談をしてくれたと思いますが、相談できるのは、この期間だけではありません。いつでも悩んだ時は遠慮せず、相談するようにしてください。今年も後1ヶ月です。小田北中生全員が充実した生活ができるようにしてほしいと願っています。

人権学習；“共に生きる”ために実践力を

1年：手話教室、2年：点字教室、3年：アイマスク体験と3年間を通して、体験に基づき身体の不自由な人と“共に生きる”ということについて考える学習をしています。

3年生のアイマスク体験では、“ボランティアグループもりもり”の森さんの体験に基づくお話を聞き、校舎の廊下・階段を使い実際にアイマスクをつけて体験を行いました。森さんの何事に対しても前向きな姿勢・プラス思考の考え方を聞かせてもらい、様々なことを感じてくれたと思います。

2年生の点字教室では、点字サークルの方々に点字板を使って点字を表す方法を教えてもらい、点字作成作業に取り組みました。

1年生の手話教室では、尼崎ろうあ協会の方々に来ていただき、教えていただいた手話を使い、隣の生徒と会話体験をしました。

これらの行事を一つの機会として色々な人の立場を知り、共に生きていこうとする心を養い広げて欲しいと思います。また、講師の方やボランティアの方から自分に負けない、前向きに生きる、他人のために行動するなど“生き方・生き様”というものも感じ、今後の生活で実際に“共に生きる”ということを実践してほしいと願っています。

